ピエダーデ富有柿祭り中止＝第20回、市180周年だったが

20ª Festa

３月初めに来社していた一行

ピエダーデ文化体育協会（菅野哲夫会長）とピエダーデ市が共催する「第２０回ピエダーデ富有柿祭り」が５月８日から１０日までの３日間、同文協会館（Rodovia SP 250, km 101, Trecho Piedade/Pilar do Sul）で開催される予定だった。３月初めに告知のために来社していたが、今回のコロナ危機を受け、急きょ中止になった。

今年は富有柿祭りが２０回目、ピエダーデ市が５月２０日に創立１８０周年という節目を迎えていた。そのため例年よりも規模を拡大し、夜には同市が企画したショーを行う予定だった。

３月初めに来社した際、菅野会長（５５、三世）は今年の柿の出来について、「今年は収穫時期が遅いが気候が涼しいので、柿の出来は良い。甘い柿が獲れそうですよ」と語っていた。

ピエダーデ文協自慢の焼きそばやカレーなどの日本食や、約３０の出店業者、和太鼓、歌謡ショーなども予定されていた。

来社した三島順一副会長（６９、二世）、高宗厚会計（７３、三世）は「今年は節目の年なので、例年よりも大きく開催します。甘くて美味しい柿も収穫できそうなので、ぜひ遊びに来てください」と来場を呼びかけていたが、残念なこととなってしまった。

関係者によれば「柿がないと柿祭りにならないので延期はできない」とのこと。問い合わせは同文協（電話１５・３２４４・１６６４）へ。